

2022年9月例会報告
関東ふれあいの道茨城10 筑波山頂めぐりのみち

開催日	2022年9月23日(金)
集合場所	筑波山神社口
集合時間	9時10分
開会式	9時50分～10時 (御幸ヶ原広場にて)
コース	筑波山神社口観光案内所→筑波山神社→ケーブルカー宮脇駅 →筑波山山頂(御幸ヶ原)→ユース hostel 跡→薬王院 →旧酒寄駅跡→りんりんロード→筑波山口バスセンター →筑波山神社口観光案内所
距離	20km (筑波山口バスセンターゴール 15km 参加者なし)
参加者	11名
天候	曇り

ウォーキング状況

今回は関東ふれあいの道シリーズ第4回「つくば山頂めぐりのみち」を歩きました。

台風14号が通り過ぎて安心していましたが、直ぐに15号が発生し週末に関東地方に影響を与える予報、一方ウェザーニューズの予報は曇りで皆さん、半信半疑で雨を覚悟して参加いただきました。有難うございます。リニューアルされた観光案内所をお借りして受付を行い、いよいよ出発です。筑波山神社でお参り後、ケーブルカーで宮脇駅から筑波山の女体山と男体山の間にある御幸ヶ原へ到着です。



このケーブルカーは明治15年行方市小幡(現在の地名)で生まれた高柳淳之介さんが大正12年に筑波山鋼索鉄道を設立し、大正14年に開通式を行っています。

高柳さんは会社設立の4年前に開通した日本初の大阪生駒山のケーブル

カーに魅せられたのが動機だそうです。
太平洋戦争終結の前年に不要不急線として廃止さて、鉄等は資源として抛出されています、唯一日本の中で残ったのは箱根鉄道だけだそうです。
10年後の昭和29年に再開され現在に至っています。
ケーブルカーの仕組みはつるべ式（交走式）で2台の車両をケーブルで繋いでロープを原動滑車にかけ回らせて走らす方式です。従って、線路中央には2本のロープがあり中間点は複線とし、交差できるようになっています。ロープは32mmで、万が一の為のブレーキは車両を両側からはさむ方式だそうです。
この方式を採用したことにより、中間点より先で90度に曲がり、トンネルを設けることができたのではないのでしょうか。



御幸ヶ原では薄日が射していて、麓を眺めると雲海を見ることができました。ここで出発式を行い、女体山の階段手前の茶店横から関東ふれあいの道にはいりました。初めは登山道ですが、直ぐに林道となります。この林道は整備されたばかりで大きな碎石が地面に馴染んでいなく足元を気を付けながら、下山開始です。この道はユースホテル跡迄1.2km続きます、途中のカタクリ群生地にて関東ふれあいの道のチェックポイントで写真を行い跡地到着です。
ここからは舗装の林道です、木漏れ日の中、やっと会話が弾みます。男の川を過ぎ、しばらく進むと薬王院からの登山道とクロスします。



今回はふれあいの道を少し外れ、この薬王院への登山道を選択しました。薬王院で参拝後、ふれあいの道に戻り、不動の滝を經由して、旧酒寄駅に到着しました。無事下山及び関東ふれあいの道茨城10完歩です。



酒寄駅バス停の待合室をお借りし昼食後、つくば登山口駅までりんりんロードを約4km歩き13時30分に到着しました。少し休憩後、筑波山神社口へ出発です、車で登る道とは別に登山道が整備されていて、その道を進みます。約2kmの道のりですが登りが続きます。



下山で思ったより足を使っていて、最後の坂道は結構応えますが、皆さん流石健脚で約30分で無事出発地点の観光案内所に到着です。皆さんご苦労様でした。

なんと到着を待って、小雨が降ってきました。出来すぎたストーリーですね。皆さんの普段の行いの賜物です。

松崎 寛（記）

追記



カラカサタケ でしょうか？